

和漢薬の歴史と広貫堂の取り組み

株式会社 広貫堂

研究開発部 研究開発グループ マネージャー 米澤裕子

株式会社広貫堂は、旧富山藩での『反魂丹役所』（配置家庭薬の製造と販売業者を指導管理した役所）の廃止後、これを引き継いで明治9年に『広貫堂』として創設されました。以来140数年、和漢薬を中心に製造、全国に配置するとともに、研究所や製造工場の設備近代化を図ってきました。

本日は、皆様には、なじみのある話とは思いますが、富山の医薬品産業のはじまりである『江戸城腹痛事件』から始まり、反魂胆、六神丸の歴史に触れていきたいと思っています。その中で、広貫堂の取り組みを少し、ご紹介できればと思います。

かつて、広貫堂は、共立薬学校の設立（現在の富山大学薬学部の前身）など、配置家庭薬の人材養成に力を注いできました。そして、昨年、富山大学 和漢医薬学総合研究所の改修の際に新設された イノベーションコモンズ等のネーミングライツ・パートナーとなりました。同施設の愛称は「広貫堂共創イノベーション LAB.（コウカンドウ キョウソウ イノベーション ラボ）」といい、研究・教育を実施する ミーティングスペースとしての活用を目的とし、「共創」の拠点として設置されました。広貫堂は、今後も従来どおり、和漢薬に携わる人財育成や高品質の製品開発するために、和漢薬を用いた植物性医薬品開発に貢献していきたいと考えています。

社名に込められた「救療の志を広く貫通する」という姿勢を崩すことなく、伝統を受け継ぎ、尚且つこれに安住せず、さらなる研鑽を重ねてまいります。

何卒一層のご支援、ご愛顧を賜わりますようお願い申し上げます。

株式会社広貫堂 研究開発部 マネージャー
米澤 裕子 (ヨネザワ ユウコ)

【略歴】

2004年 日本大学薬学部薬学科卒業
薬剤師免許取得
2006年 富山医科薬科大学大学院薬学研究科薬科学専攻博士前期課程 修了
2009年 富山大学大学院医学薬学教育部生命薬科学専攻博士課程 修了
博士(薬学) 取得 (富山大学 生薬学研究室)
2009年 株式会社 広貫堂入社
2016年 漢方薬・生薬認定薬剤師取得
2024年 株式会社 広貫堂 研究開発部 マネージャー
現在に至る